

府立中津支援学校 令和4年度「学校運営協議会」議事録（第1回）

日時	令和4年7月1日（金）10：00～12：00			
出席者	協議会委員	所属等	学校事務局	校務分掌等
	川田 和子	大和大学教育学部准教授	奥井 光司	校長
	田中 博之	大阪整肢学院 院長	人見 光彦	教頭
	花咲 典之	中津連合振興町会 会長	水迫 英紀	事務長
	中塚磨由美	新梅田シティライオンズクラブ	入福 濱 光	首席兼小学部主事
	園田 葉子	大阪音楽大学 教授	宇賀 功二	首席兼中学部主事
			三木 智裕	高等部主事
			萩野 美穂	教務主任
傍聴人				
おもな テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校経営計画及び学校評価</li> <li>・ 令和5年度教科用図書選定</li> <li>・ 授業アンケート</li> </ul>			
協議内容の 概略  及び  提言内容・ 改善方策	<p>(1) 学校運営協議会実施要項について</p> <p>(2) 令和5年度使用教科用図書の採択について 教務主任より令和5年度選定教科書の報告を行った。また令和4年度採択教科用図書については会場内に展示。委員の方々へ確認の時間を設けた。</p> <p>(3) 令和3年度 学校経営計画及び学校評価について</p> <p>(4) 令和4年度 学校経営計画について</p> <p>①『支援機器活用・支援教育実践研修会』の時間と対象者及び『ボランティア講座』への昨年度の内容質問について →『支援機器活用・支援教育実践研修会』の対象としては、地域の学校園、支援学校の先生方、大学生、大阪整肢学院の職員の方々で考えている。ただし、それ以外でも参加したい方々がいらっしゃれば対応を考えていく。時間については、午前の部は、実際に児童生徒が活動している姿を見てもらうため人数制限を設けるが、午後の部は、大勢の方々に来ていただき様々な支援機器の体験や、相談等してもらえればと考えている。『ボランティア講座』の内容については、支援の必要な児童生徒に対してのアプローチという目的で行っているため、昨年度をベースとしたものになる。</p> <p>②地域としては若い人が少なく年齢的に研修や講座等に参加することは難しい。 → 地域との連携という観点から、本校では、社会福祉協議会中津地域女性部の方々による環境美化ボランティア活動を実施しており、今年度の活動について、本校のブログを確認し、報告した。</p> <p>③講座に参加した学生たちは特別支援学校の教員免許状を取得したいとの思いをもつようになった。ボランティアに興味関心のある学生も多いため、夏季休業中等</p>			

の授業期間以外に実施ということで学生が参加しやすく、ありがたく思っている。

④感染症に関するBCP（事業継続計画）について

→ 学校の活動を止めないこと、子どもたちが学校に来られるようにすること、かつ安全に学校で過ごせるようにすることを最優先に考え、現在素案を作成している。完成すればお示しする。学校が単独で作っても機能しない。必ず大阪整肢学院の協力・確認が必要になるため、共有する。

(5) 授業見学（ICTを活用した授業、校内実習等）より

授業参観して、どこの教室でも先生方がICT機器を使いこなしていることに驚いた。WEBの発信も盛んで素晴らしい。

(6) 令和4年度 学校教育計画について

・ユニクロの『“届けよう、服のチカラ”プロジェクト』について

→ SDGsの全てに関わっていくことは難しい。現在、回収した服がどのように使われていくのかについて学習しており、衣服を回収・仕分け作業を通して関わられるようにと考えている。また、出前授業もお願いしており、より詳しい説明等を生徒へ行う予定。2学期の学校運営協議会の場にて報告する。

中津地域としては、来年の7月にスカイビルでイベントを企画している。その中で取組みを紹介できないかと考えている。

→ 子どもたちにとって地域の取組みを知るきっかけになる。また本校の取組みを地域に知っていただく機会にもなる。ご相談いただければ、学校から近いところでもあり、参加できたらありがたい。

(7) 授業アンケートについて

・一つの授業を10分程度見学してアンケートに答えるのは難しい。

→ 教職員がなかなか気付かないこともあるので、どんな些細なご意見であってもいただければと思う。出された意見を真摯に受け止め、授業改善に努めていきたいと考えているので、是非ともお願いしたい。

(8) その他

・大阪関西万博開催に向けた共創プロジェクトとして中津万博を行う予定。日曜実施のため児童生徒の参加は難しいかもしれないが、その前後に1週間くらい期間を設けてできることを考えている。平日の昼間なら参加していただけることがあるかもしれないので、考えて欲しい。

・本校での防犯訓練に参加した。数年前に大淀警察署の方より教わったときと、さすまたの使い方が違っていた。知識を更新できてよかった。

(9) 事務連絡